



YAMAGATA COLLEGE OF
INDUSTRY & TECHNOLOGY

OPEN CAMPUS 2026

開催日：令和8年10月18日（日）

山形県立産業技術短期大学校



山形県立産業技術短期大学校 2026 秋のオープンキャンパスの御案内

山形県立産業技術短期大学校の基本理念は、産業構造の高度化、多様化、さらには情報化に対応する豊かな感性と創造性を備えた“実践技術者”を育成確保し、本県の技術力の向上と産業界の振興に貢献することです。皆様に、この“実践技術者”を育成するための教育環境を知っていただくため、下記のとおりオープンキャンパスを開催します。

1 日 時

令和8年10月18日（日）9：30～12：45（受付開始9：00）

2 会 場

山形県立産業技術短期大学校

3 対 象 者

高校生、高校生の保護者、高校の先生、その他一般参加希望者

4 内 容

学校概要説明、入試案内、学科説明、体験授業（土木エンジニアリング科のみ）、実験実習施設見学、個別相談、学生寮見学

5 申 込

本校ホームページの秋のオープンキャンパスから申込み

【令和8年9月15日（火）午前10時 申込受付開始】

※先着順により決定し、各学科の定員になり次第締め切り（定員は、各学科の資料をご覧ください。）

【申込方法】

参加希望の高校生



本校ホームページ

(<https://www.yamagata-cit.ac.jp/>)

「新着情報」からお申込みください。

※保護者等の参加者は事前申込不要です。



参加票	
受付番号	260251448
名前	産技 太郎
イベント1	学校概要説明
場所	大講義室
時刻	09:30～10:15
2次元コード	

申込みが完了すると、参加票が登録したメールアドレスあてに送信されます。

6 交 通

山形駅西口と本校間の無料シャトルバス運行（9：00～15：30）

（運行時間は運行案内の資料をご覧ください）

7 当日総合受付

山形県立産業技術短期大学校 学生会館1階

8 日 程

		9:30～10:15	10:30～11:15	11:30～12:15
学校概要説明・入試案内		学校概要説明 入試案内	-	-
学科説明・施設見学など	デジタルエンジニアリング科	-	D-1 学科説明・施設見学	D-2 学科説明・施設見学
	メカトロニクス科	-	M-1 学科説明・施設見学	M-2 学科説明・施設見学
	知能電子システム科	-	E-1 学科説明・施設見学	E-2 学科説明・施設見学
	情報システム科	-	S-1 学科説明・施設見学	S-2 学科説明・施設見学
	建築環境システム科	-	A-1 学科説明・施設見学	A-2 学科説明・施設見学
	土木エンジニアリング科	-	C-1 学科説明・施設見学	-
-		-	C-2 体験授業(測量体験)	
学生寮見学		-	①10:30～10:45、②11:30～11:45、 ③12:30～12:45	
個別相談		-	10:30 ～ 12:30 に随時実施（先着順）	

9 その他

- ・筆記用具を持参してください
- ・内履きは不要です。
- ・当日は図書館で過去の入試問題が閲覧できます。

10 問 合 先

山形県立産業技術短期大学校 オープンキャンパス担当

〒990-2473 山形市松栄2-2-1

TEL 023-666-8792

Eメール nyushi@yamagata-cit.ac.jp

担当：教務学生課 荒井、正野

機械システム系 デジタルエンジニアリング科

Digital Engineering Course



<https://www.yamagata-cit.ac.jp/department/kikaikei/digital/>

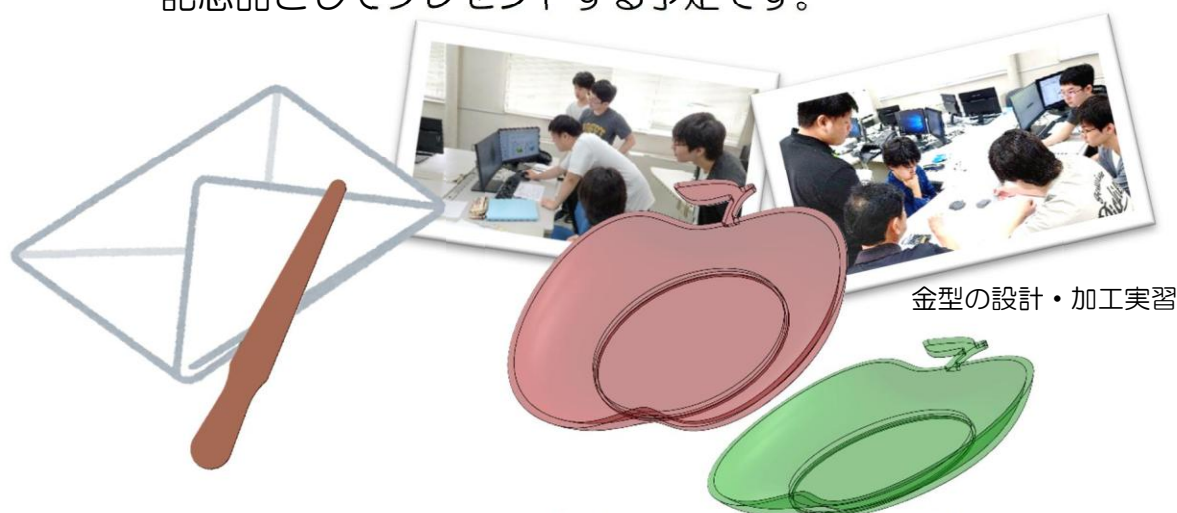
学科説明会、施設見学、成果物展示 (D-1・D-2)

D-1 (10:30～)・D-2 (11:30～)

学科説明会：デジタルエンジニアリング科の目指す技術者像や、金型を教材としたモノづくり教育、卒業後活躍できる分野などについて説明します。

施設見学：精密加工室、射出成形機、プレス加工機などを見学します。

成果物展示：デジタルエンジニアリングを駆使したモノづくりを学ぶため2年生はモールド金型とプレス金型の設計製作を行っています。今年は日々の食卓をオシャレに飾る「りんご小皿」と封筒を開封するのに便利な「ペーパーナイフ」の金型製作に挑戦しました。会場では金型実習の説明と製作した作品を記念品としてプレゼントする予定です。



金型の設計・加工実習

銅製「ペーパーナイフ」

プラスチック製「りんご小皿」

画像は本科学生が3D-CAD SolidWORKS で設計したモデルです。

各回定員 10名

場所：FA棟 金型演習室

機械システム系 メカトロニクス科

Mechatronics Engineering Course



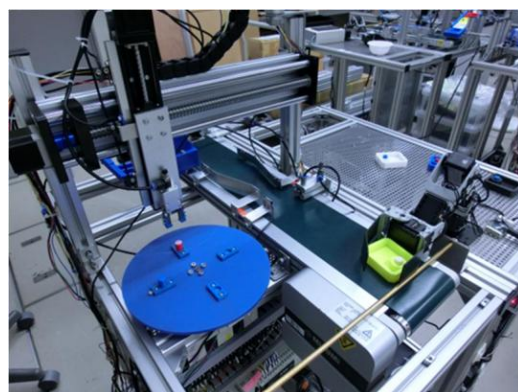
<https://www.yamagata-cit.ac.jp/department/kikaikei/mecha/>

学科説明会、施設見学、成果物展示 (M-1・M-2)

M-1(10:30～)・M-2(11:30～)

- 学科説明会

メカトロニクス科では自動化機器やロボットを作ることが出来る生産技術者を育成します。そのために必要なメカ、電気、ソフトの幅広い知識を身に付けます。何が学べるのか？どのような仕事に就けるのか？そして、卒業後にどのような活躍をしているのか？を説明します。あなたの未来を探しましょう！



ミニ自動化ラインの制作課題：メカ、電気、ソフトの知識を実践

- 施設見学・成果物展示

講義・実習内容を、施設や成果物を交えながら学生が紹介します。疑問点などを気軽に質問してみてください。



自動機器の資格取得・競技会参加



人と協働可能なロボットでの研究・資格取得

各回定員 30 名

場所：実験研究棟 2 階 21 号教室

知能電子システム科

Intelligent Electronic Systems Course



<https://www.yamagata-cit.ac.jp/department/chinoh/>

学科説明会、施設見学、開発展示 (E-1・E-2)

E-1(10:30～)・E-2(11:30～)

学科説明

学生が学科の概要を紹介し、
わからないことがあれば、
見学時に気軽に聞いてください

チャットAIやエージェントAIが私たちと話をしながらコンピュータ上での情報加工をしてくれる…
もうそんなAI世界が当たり前になりました。

次は、AIが現実の世界に直接働きかける
“フィジカルAI”が求められています。

そのためには、**“デジタル技術” + “人・モノ・環境へのアクセス技術”**

が必要です。この両方を学び、
社会を動かせるエンジニアを目指します。

開発展示

学生が開発したシステムを
見て・体験して
何を学べるのか、
何ができるようになるのか、
想像を膨らませてみよう！



① スマートレジ

RFIDタグが付いた商品を複数買い
物かごに入れ、買い物かごと一
気に合計金額が計算できるレジを
PBLで再現開発！



② IoT傘たて

ネットから天気予報を取得し毎朝
玄関を出るときに、傘を持って
いくかどうか教えてくれる傘立てを
PBLで開発。身近な日常課題も！



③ さくらんぼAI選別

農業の人手不足に対応する為、果
実の大きさや等級を瞬時に判別
表示してくれる。県内農家との共
同研究で農業課題の解決へ！



④ ゲーミング花壇

街中の花壇って誰が世話しての？
花壇をネットに接続し、水やりや
草むしりで成長を楽しめるゲーム
を開発。都市整備課題の解決に！



⑤ 超小型人工衛星

山形県の宇宙産業参入を目指すプ
ロジェクトに参画し、超小型人工
衛星CubeSatを学生だけで設計・
製作！宇宙課題にもチャレンジ！



⑥ 文章読み上げツール

文章を読むのが苦手な子供たちに
向けた読み上げツール。県内の児
童福祉施設と共同で福祉課題の解
決を模索検討。実用化を目指す！



⑦ デジタルサイネージ

道の駅の情報端末などに設置する、
ジェスチャーをAIで解析し、触れ
ずに操作できる情報端末を開発。
生活課題の解決へ。



⑧ FAラインDigitalTwin

人手不足の中、生活を支える工場
の自動化は必至！ロボットアーム
の制御とDigital Twinでエコシス
テム化。産業課題の解決を目指す



⑨ AIカー

小さいAIカーで、大きな交通課題
に挑む！センサーと最新のAI学習
で、自動運転や協調運転の仕組み
を構築！車社会山形の未来の姿を。



⑩ ドライブシミュレータ

想定外の交通トラブルに臨機応変
するには、AI自動運転に加えて遠
隔操作が有効。現実世界とつなが
る仮想世界に交通状況を再現構築。



⑪ AIパーキング

カメラからAIで駐車場の空き状況
を常時監視し、駐車場の煩雑さを
解消するシステムを構築。店舗
クーポンも連携し商業課題解決へ

各回定員 15名

場所：実験研究棟 2F 制御応用実習室

情報システム科

Information Systems Course



<https://www.yamagata-cit.ac.jp/department/jouhou/>

学科説明・プロジェクト型課題実習説明・フリートーク (S-1・S-2)

S-1 (10:30～)・S-2 (11:30～)

まず、学科説明として、教育の特徴、カリキュラム、卒業後の進路などについて教員から紹介します。続いて2年生が4月から取り組んできたプロジェクト型課題実習の説明とデモを2年生が行います。課題を解決するために、これまで学んだ知識や技術を活用し、課題解決案をチームで考え、それを実現するための情報システムの設計・開発を行いました。最後にフリートークの時間を取ります。2年間の学生生活など、みなさんが不安や疑問に思っていることに学生が答えます。情報システム科の活動をみなさん自身で感じ取ってください。



学科説明（カリキュラムなど）



プロジェクト型課題実習説明とデモ



先輩とのフリートーク



プロジェクト型課題実習の展示

各回定員 16 名

場所: 実験研究棟 3 階 情報システム工学実習室

建築環境システム科

Architectural Environmental Engineering Course

<https://www.yamagata-cit.ac.jp/department/kenchiku/>



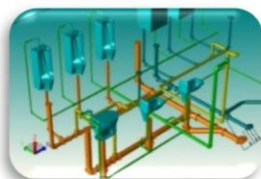
学科説明・施設見学、学生設計作品の紹介 (A-1・A-2)

A-1 (10:30～)・A-2 (11:30～)

建築環境システム科では、「環境」をベースとして「建築」と「建築設備」(空気調和・給排水・電気)に関する技術を身に付け、地球に優しい建物づくりができる技術者を育成しています。

今回は、【学科説明・施設見学】の中で本科の魅力や特徴を分かり易く説明し、関連施設を見学します。また、学生が講義で取り組んだ3次元CADによる設計課題を紹介します。

学科説明、学生設計作品紹介



施設見学



実験研究棟
環境工学実験室



建築環境1号棟
空調実験室



建築環境2号棟
実習場(工作・施工)



各回定員 20 名

場所：実験研究棟 3 階 建築環境 CAD 室

土木エンジニアリング科

Civil Engineering Course

<https://www.yamagata-cit.ac.jp/department/doboku/>



学科説明会・施設見学 C-1(10:30~11:15)

巨大構造物はここから始まる

測って拓く!未来のインフラ体験 C-2(11:30~12:15)



学科説明・施設見学 (C-1)

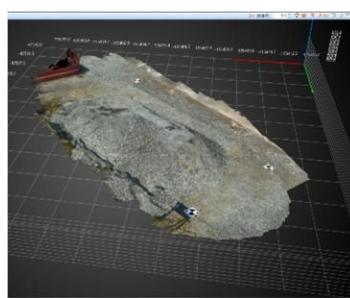
土木エンジニアリング科で学ぶこと、取得できる資格、卒業後の就職先など詳しく説明します。また、独立した建物である土木教室棟・実習棟・使用する実験設備について見学します。その他、入試や入学にあたりご不安なことがあれば遠慮なく質問ください。



巨大構造物はここから始まる

測って拓く!未来のインフラ体験 (測量体験) (C-2)

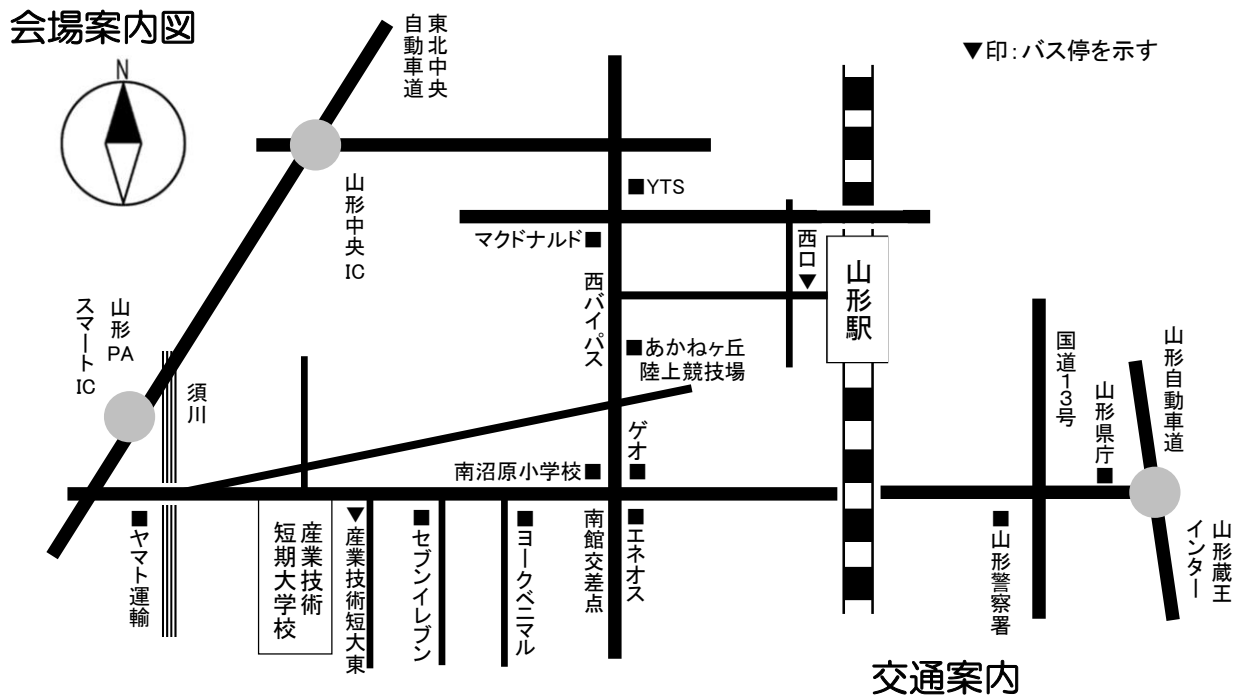
最新の測量機器を使って、距離や高さを自分の手で測り、地図づくりや建設を支える技術を体験。高校生の皆さんが、未来の社会を支える仕事の面白さと達成感をダイナミックに学べるプログラムです。



学科説明・施設見学 定員：20名 場所：土木教室棟 CAD 室

測量体験 定員：10名 場所：土木実習棟測量実習室

会場案内図



交通案内

タクシー (約 15 分・約 4Km)

山形駅西口

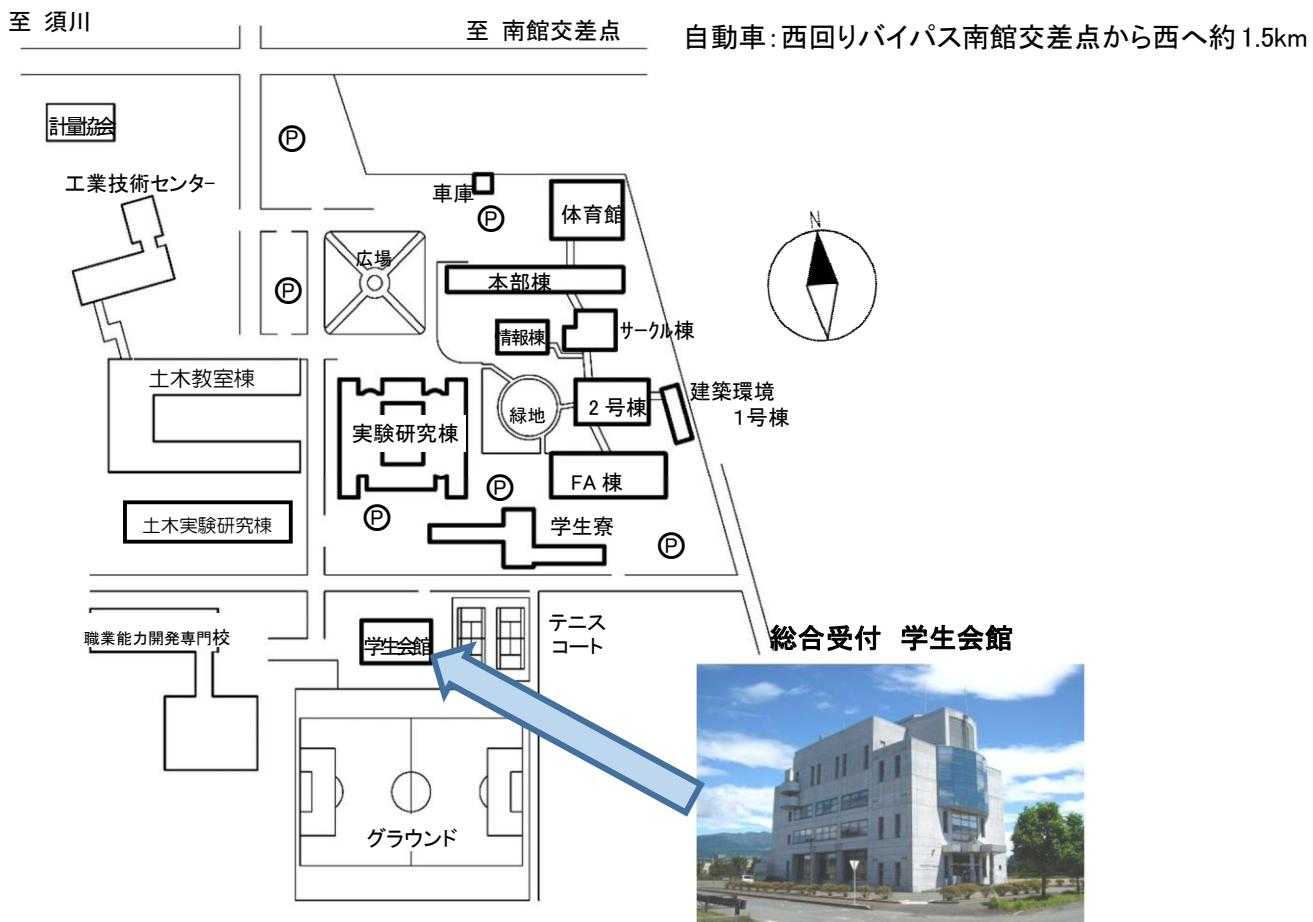
産業技術短期大学校

施設配置図

至 須川

至 南館交差点

自動車:西回りバイパス南館交差点から西へ約1.5km



山形県立産業技術短期大学校

2026 秋のオープンキャンパス 無料シャトルバス運行案内

〔開催日 令和8年10月18日(日)〕

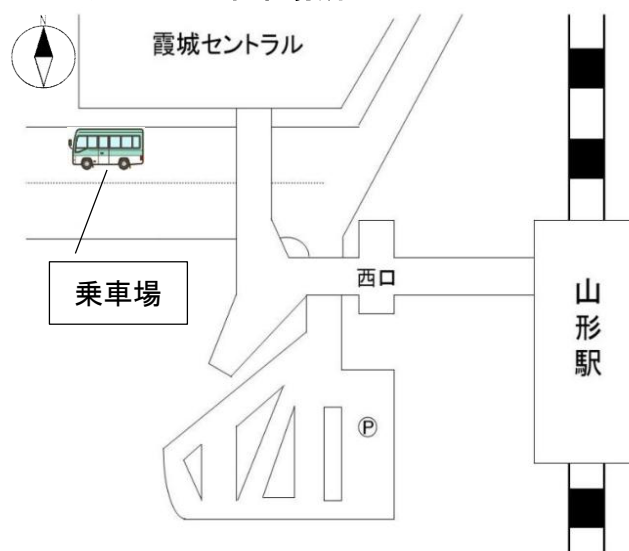
山 形 駅 西 口

運 行 時 刻

産技短大行き

山形駅 西口発	産技短大 着
9:00	9:15
10:10	10:25
11:00	11:15
12:40	12:55

シャトルバス乗車場所



産業技術短期大学校 本部棟前

運 行 時 刻

山形駅西口行き

産技短大 発	山形駅 西口着
9:40	9:55
10:40	10:55
11:35	11:50
13:00	13:15
14:00	14:15
15:30	15:45

シャトルバス乗車場所

